

特252

255

東本願寺

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 7 0 1 2 3 4 5

始



顯淨土真實教行證文類序

愚禿釋親鸞述

竊以難思弘誓度難度海大船無礙光明破無明闇惠日然則淨邦  
緣熟調達閻世興逆害淨業機彰釋迦章提選安養斯乃權化仁齊  
救濟苦惱群萌世雄悲正欲惠逆謗闡提故知圓融至德嘉號轉惡  
成德正智難信金剛信樂除疑獲證真理也爾者凡小易修真教愚  
鈍易往捷徑大聖一代教無如是之德海捨穢忻淨迷行惑信心昏  
識算惡重部多特仰如來發遣必歸最勝直道專奉斯行唯崇斯信  
噫弘誓強緣多生叵值真實淨信億劫叵獲適獲行信遠慶宿緣若  
也此廻覆蔽疑網更復逕歷曠劫誠哉攝取不捨真言超世希有正  
法聞思莫遲慮爰愚禿釋親鸞慶哉西蕃月支聖典東夏日域師釋  
難遇今得遇難聞已得聞敬信真宗教行證特知如來恩德深斯以  
慶所聞嘆所獲矣





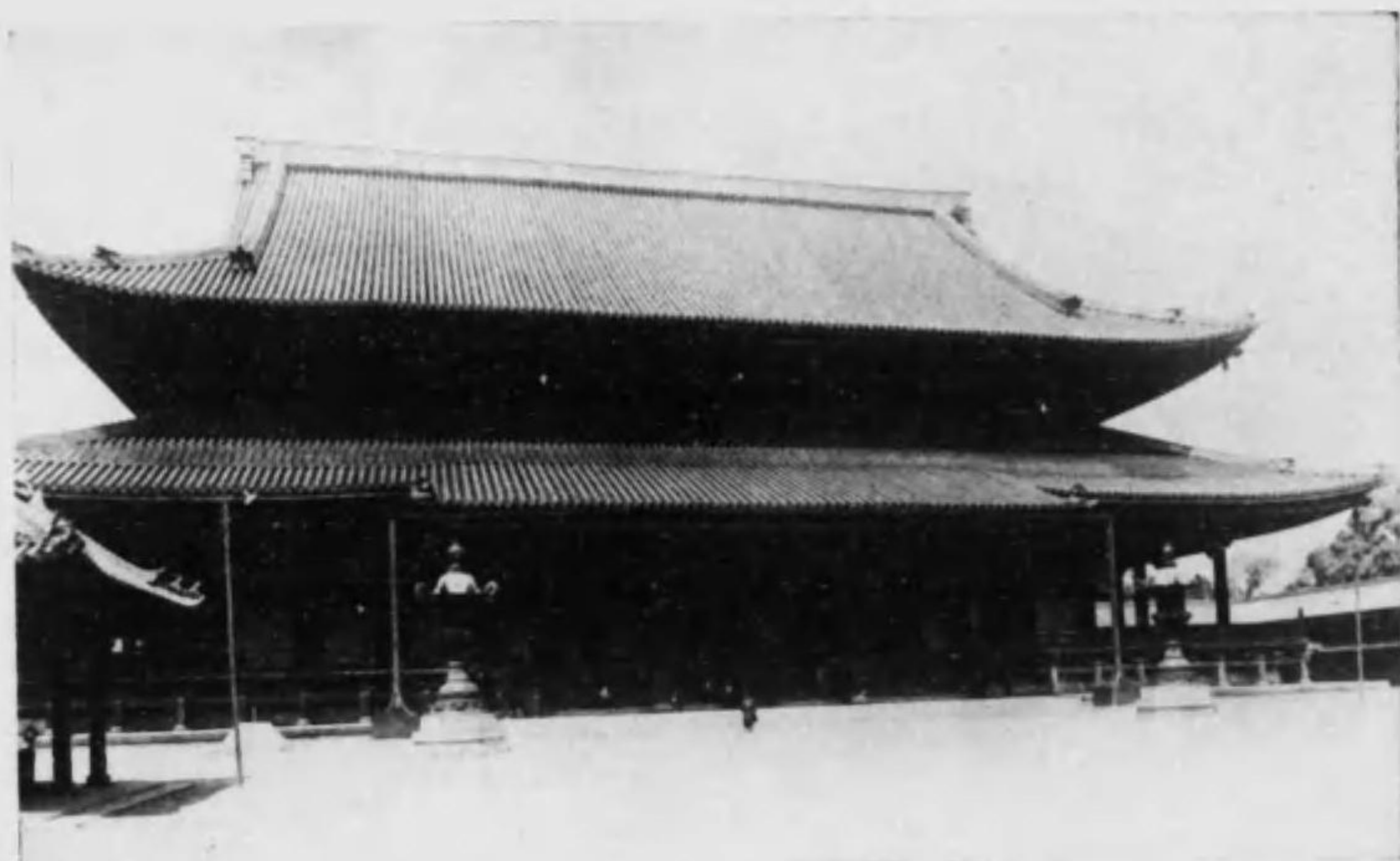


The Hondo ("Main Hall")

本 堂

阿彌陀堂とも稱す、大師堂の南にあり東面す、内陣の宮殿に本尊阿彌陀如來の立像を安置し左右に、今上天皇聖躬萬歲、大正天皇尊儀の兩尊牌、北臨壇には聖德太子の御影、同餘間には、龜山天皇の尊牌を奉安す、南臨壇には法然上人(圓光大師)同餘間には龍樹、天親、曇鸞、道綽、善導、源信の六高僧の影像を安す、明治二十八年竣工、奥行向拜後堂柱貫々二十六間二尺四寸、高さ十五間五尺六寸疊數四百一疊あり。

一稱阿彌陀堂、在大師堂南面而東、其内陣宮殿中、安置阿彌陀如來之立像、其左右恭陳今上天皇聖躬萬歲及大正天皇尊儀之兩尊牌北臨壇聖德太子之影像同餘間龜山天皇之尊牌、南臨壇懸揭法然上人(圓光大師)之畫像、同餘間六高僧龍樹、天親、曇鸞、道綽、善導、源信之畫像、本堂係明治二十八年竣工、前後屈伸一百五十八尺四寸、上梁高九十五尺六寸、疊數四百一枚



The Daijido ("Hall of the Great Founder")



Hair-Ropes

明治十二年五月兩堂再建の旨を發示し、十三年十月工事を起すや、工事に堅牢なる綱を要す。老若の婦女其頭髮を斷ち毛髮の大綱を作製して進納し、兩堂の大工事を竣工せしめたり、現今陳列せるは其一部なり。

明治十二年（當清光緒五年）再建兩堂之際運搬巨材、各種牽繩、皆切斷不堪其用、當時遠近老幼婦女傳聞之、競自剪頭髮、製作牽繩、因以成就其工、其毛繩共計五十三條、其中二十九條遂致斷潰、今存者二十四條、大者長二百零七尺一尺三寸、重一千七百五十斤

毛 綱

大 師 堂

御影堂とも稱す、重層伽藍造、本堂の北にあり東面す、内陣須彌壇上の厨子に宗祖觀覺聖人自作の座像を安置す、北脇壇には前々住上人の影像、南脇壇には歷代法主の双幅の影像、同餘間には九字十字の名號を安す、本堂と同じく明治二十八年竣工、雨落四十二間高量二十一間餘、疊數九百二十七疊あり。

此の御堂の再建大工事は女人大衆の捧ぐる頭髮に宿る念力により見事成就せしものにして堂千有餘萬に上る門葉の信仰中心道場として今も猶全國より群集老若男女の參詣に依り法義相續、本廟相續のかさやかしき委を物語る。

一稱御影堂、在阿彌陀堂北面東、堂係重層伽藍建築模式、其内陣須彌壇上陳設佛龕、内安置宗祖觀覺聖人自影坐像、北脇壇懸歷代法主之畫像、南脇壇懸歷代法主之畫像、南餘間掲九字及十字之尊號、堂係明治二十八年竣工再建之工、當時運搬巨材、各種牽繩皆切斷、不堪其用、遠近婦女傳聞之、競自剪髮、製作牽繩、因以成就其工、本堂左右寬度二百五十二尺、上梁高百二十餘尺、疊數九百二十七枚、實是當派一千餘萬門徒之信仰中心道場、至今猶依全國各地之老若男女、具現法義相續本廟相續之眞摯信仰



Shinran Shōnin's Mausoleum

#### 大谷御廟

大谷御廟は大谷別院と云ひ東山區圓山町にあり、慶長七年教如上人復職せらるゝや宗祖聖人の御墳墓を本山の長岡に築き假に歴代法主の遺骨を納む、承應二年徳川家綱現在の地域を寄進す寛文十年常如上人改葬の法要を修し元禄十二年一如上人本堂其他を起工、同十六年竣工す、中庭の乾隅に茶亭あり、轉々亭と名付く、嚴如上人の創意になる、京洛九衢一望の中にありて頗る風趣に富む。

本廟亦稱大谷別院、在東山區圓山町、慶長七年教如上人復職之際、築宗祖親覽聖人之墳墓於本山長岡、權應歴代法主之遺骨、其後承應二年徳川家綱公寄進現今寺域、寛文十年常如上人改葬宗祖以來歴代之家、元禄十二年一如上人修築寺堂、同十六年竣工、中庭乾隅有茶亭、額曰轉々亭、係嚴如上人之創建、坐其亭内、則可望京洛衢、頗富風趣



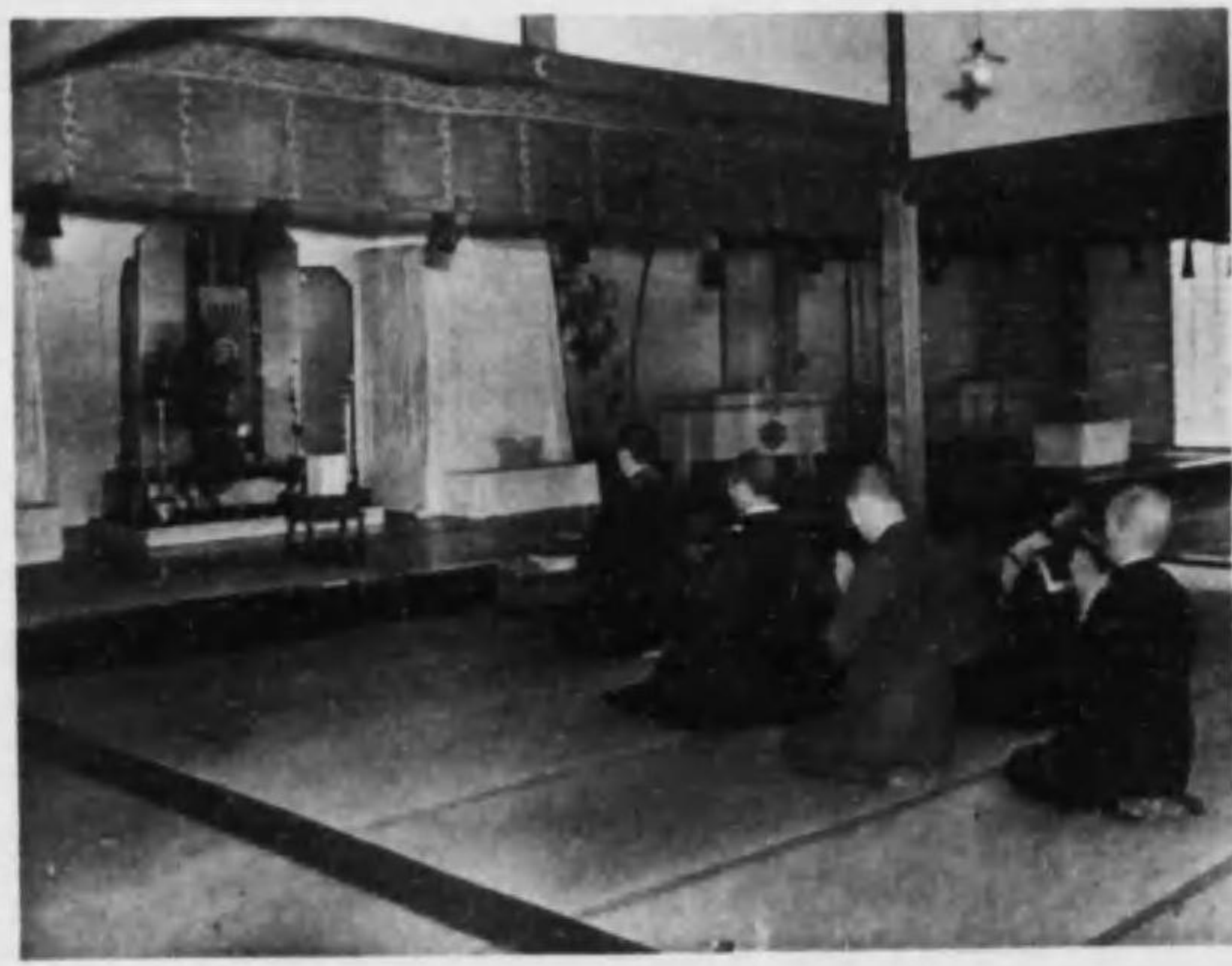
The Shirōjin



The Kuōjin

明治四十四年竣工、坪數百十坪、正面欄間には閑院宮  
 載仁親王殿下の御筆「國豊民安」の大額を掲ぐ。閑院宮  
 載仁親王殿下の御筆「國豊民安」の大額を掲ぐ。閑院宮  
 載仁親王殿下の御筆「國豊民安」の大額を掲ぐ。閑院宮

在勅使門正面、隣大木堂大師堂是舉行諸種儀式之處也  
 雖爲現代巨匠竹内栖雲、廣爲三百六十坪、上段障壁  
 畫是現古柳眠鷺、風畫伯彩景三景題詞云「風竹野鷺  
 歡喜」



The Ōshinden

勅使門の正面にあり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式  
 の行はるゝところなり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式  
 の行はるゝところなり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式  
 の行はるゝところなり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式

明治四十四年竣工、坪數百二十二坪、位居宮御殿之西  
 大書院  
 明使門の正面にあり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式  
 の行はるゝところなり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式  
 の行はるゝところなり、本堂、大師堂に次で諸種の儀式



The Ōkatei Tea House

白書院の南にあり、現  
 如上人御遺愛の茶席に  
 して伏見宮貞愛親王殿  
 下御筆「櫻下亭」の額  
 を掲ぐ、襖繪の松竹梅  
 は圓山應舉の筆なり。  
 在白書院之南、現如上  
 人遺愛之茶席、在茶席  
 掛着的爲伏見宮貞愛親  
 王殿下御筆「櫻下亭」  
 之筆、襖繪者畫家圓山  
 應舉彩景



The Miyagoten

宮御殿  
 明治十三年長く  
 も明治天皇よ  
 り大宮御所の一  
 部を拜領したる  
 ものにして一名  
 拜領殿と稱す、  
 廣さ八十五坪



參詣人之群

春秋の彼岸會並に報恩講には祖徳を慕ひ甘露の法雨を求めて全國より參集するもの甚だ多く東六條の地内念佛の聲沸くが如し(右寫眞)每逢春秋兩季之彼岸會及報恩講、即自國內各地、慕宗祖之遺徳、求甘露之法雨而來者絡繹不絕、念佛之聲充滿於東六條衢巷

Groups of Worshippers



清掃作業

工場に働く若き女性の胸にも信仰の花開き彼女等は本堂大師堂を其の心の如く美しく掃除したる後宗祖の影前に額きて同朋奉讃を奉唱す洵に麗しき情景なり(左寫眞)工廠女性、深信仰彌陀、得閑暇來、清潔掃除本堂及大師堂、然後齊拜跪宗祖影前、奉唱同朋奉讃之聖歌、眞一場之美景也

Factory Girls Cleaning the Floor



噴水(噴泉)

防火噴水は、數次の罹災に鑑み、その源を琵琶湖に發し、洛東三條線上より引きて本山境内に達す。境内至る所に鐵管を敷設し、百五十餘の防火栓を備付け、兩堂、大門の破風、屋根の四周等にも通じ、一朝變事あれば、噴騰百三十二尺以上に達する水を噴出せしむ(右寫眞)本寺因屢遭祝融之災、從洛東三條線上、以本寺特設水管引誘琵琶湖水、寺内各處、兩堂大門、搏風四屋、均設水管、以備防火之用、本水管放水之時、能騰百三十八尺以上若開全瓣進水噴出、勿論大伽藍院内各處、全爲龍吐所包、大門前有噴水池、周十丈、中央置青銅蓮華、四時清水噴出、中天不絕

The Fountain





Kiku-no-mon ("Chrysanthemum Gate") or Chokushi-mon ("Gate for the Imperial Messenger")

菊之門

徳川家康公本堂門と共に桃山城の建物を寄附したるものにして門扉に菊花の大紋章を附するを以て菊之門と稱す。明治四十二年十一月再建の工を起し同四十四年二月竣工す、四脚門造檜皮葺前後唐摺風造兩妻の切妻とす、すべて漆箔押の鈔金物を打ち莊麗桃山時代を偲ばしむ。

本門與本堂門係桃山城之遺構而徳川家康公所寄也、其門扉上、以有菊花之大紋章（日本帝室徽章）故稱菊之門、其後遭祝融之災、現今建築、明治四十二年十一月起工、同四十四年竣工、其建築様式係四脚門、檜皮葺前後唐摺風、兩妻之切妻、總施漆箔押之金具、其華麗、以足想見桃山時代之壯觀焉。



The Chinese Special Mission Greeted by Count and Countess Kochō Ohtani



Welcoming the little messengers from Manchuria at TairanLo in Arashiyama



Lama Priests from Mongolia Worshipping before the Statue of Shinran Shōnin

### 親善の契

大滿洲帝國は建國以來隆々として榮え日滿一徳一心の美しい契は益々固められ、又汪精衛氏を中心とした中華民國新政府は反共和平建國の尊き使命を以て榮光に滿ちた途上に善隣友好の誓も固く訪日答禮使節陳公博專使、褚民誼副使一行をはじめ多數、盟主國日本へ來朝されます。申すまでもなく法主臺下御裏方をはじめ舉派眞の提携に寄與すべく力を致して居ます。

「上」訪日答禮專使陳公博閣下一行を迎へて兩國の將來を壽せらるゝ法主臺下並に御裏方下右「蒙疆」より遙々來山參詣の喇嘛僧、下左「滿洲國學童使節來山嵐山對嵐房にて交離」大滿洲帝國自建國以來隆々而榮耀、堅固了日滿一徳一心之美契、又有中華民國新政府反共和平建國以尊貴之使命向著榮光的途上、善隣友好的結誓亦更固、赴日答禮使節陳公博專使一行外多位來朝盟主國日本。因以法主臺下御裏方、舉派向眞の提携寄與着應効之力。

結ばるゝ心

東亞百年の大計基礎たる民族の協調は先づ女性からと、我が御裏方は率先して大陸に渡り、  
 彼地の女性に親善提携を呼び掛けられました、仍て大陸の女性も深く感ずる處あつて、茲  
 に固き握手が出来ました。

殊に故北寧鐵路局長陳覺生氏の遺志に依り設立された覺生女子中學校は、佛教の眞髓を通  
 じて、兩國の女性を永遠に心から結びつけることでしょう。

寫眞 上—佛教ヲ通ジテ中國ノ婦人ト親善増進ノヲメ日華佛教婦女會御出席ノ御裏方  
 下—同一信仰ニヨリ乙女心ニ永遠ノ友好ヲ誓フ固キ握手(覺生女子中學校、光華  
 高等女學校、大谷和洋裁縫女學校ノ生徒達)



Countess Kōchō Ohtani Greeted by the Sino-Japanese Women Buddhist Association



Chinese School Girls Received by Japanese School Girls.

東亞百年大計の基礎之協調、是先由於女性、因以我  
 御裏方(太夫人)率先而赴華、呼喚彼地の女性、使  
 之親善提携、因以大陸之女性亦深有所感之處、於以  
 而得到堅固的握手了  
 將而依故北寧鐵路局長陳覺生氏之遺志、所設立の覺  
 生女子中學校、穿過佛教の眞髓、而永遠兩國女性、  
 能從心的紐結的吧

興亞の誓ひ

東亞諸民族の共好共榮互助連環の完遂は「同一念佛無別道故遠  
通則四海皆兄弟」の大乗佛教の眞精神を通じて初めて可能なる  
ことを信じ我が國在住の華僑の方々と同文同種同宗教の深遠の  
由緒を想起し曩に佛教興亞會を創り日華兩國の精神的結合を志  
願して之が達成に努力してゐます（上—大師堂ニテ歸敬式ヲ受ケ  
ル華僑ノ人々、下—佛教興亞會總會）



Abbot's Deputy Performing "The Razor Ceremony" for  
the Chinese Residents in Japan



The Sino-Japanese Good Will Association

東亞諸民族の共存共榮互助連環の完遂、相信是得穿過同一念佛  
無別道故、遠通則四海兄弟之大乗佛教の眞精神始可能的、而與  
我國在住華僑諸位、想起同文同種同宗教の由緒、在與創立佛教  
興亞會、志願着日華兩國之精神的結合、而努力期望着他的達成

# 學 教



The Ohtani University, Kyoto

一派の教學は今を去る二百六十年前寛文年間より特に隆盛となり、明治時代に入りて學制を改め大學、中學校、女學校等を開設し社會文化に貢獻すること大なり、現在に於ては宗學院(一)、大學(一)、眞宗專門學校(一)、専修學院(一)、中學校(三)、女學校(一七)とす、更に其他毎年各地に傳道學院、眞宗學院を開設し一派僧侶の教養向上に資し又は日曜學校、幼稚園、保育園を設けて兒童の宗教教育に盡す。  
(右)大谷中學、(左)大谷大學、(右)光華高等女學校、(左)大谷大學、(左)北京覺生女子中學校)



The Ohtani Middle School, Kyoto

當派教學、距今二百六十年前、即寛文年間(清康熙年間)特赴隆盛、迨至明治時代、刷新學制、開設大學、中學校、女學校、大爲貢獻社會文化現所經營、即有宗學院(一)所、大學(二)所、眞宗專門學校(一)所、専修學院(一)所、中學校(三)所、女學校(十七)所、其他每年在各地、開設傳道學院、眞宗學院以資當派僧侶之修養向上、或又設施日曜學校、幼稚園、保育園、以盡力於兒童宗教教育



The Kakusei Girls School, Peking

吾が東本願寺東方は東亞永遠の平和建設は先づ兩國女性の心からなる御手より築きあげらるべきを信じ日華佛教婦女會總裁として又故北平鐵路局長陳覺生氏の遺志による北京覺生女子中學校の名譽校長として大乘佛教を通じて日華親善提携の國策實現に努められつゝあり  
我東本願寺東方は建設東亞永遠の平和、先以日華兩國女性之親密提携最爲重要親任日華佛教婦女會總裁、或爲北京覺生女子中學校名譽校長、由大乘佛教之精神致力於日華親善



The Kōka Girls School, Kyoto

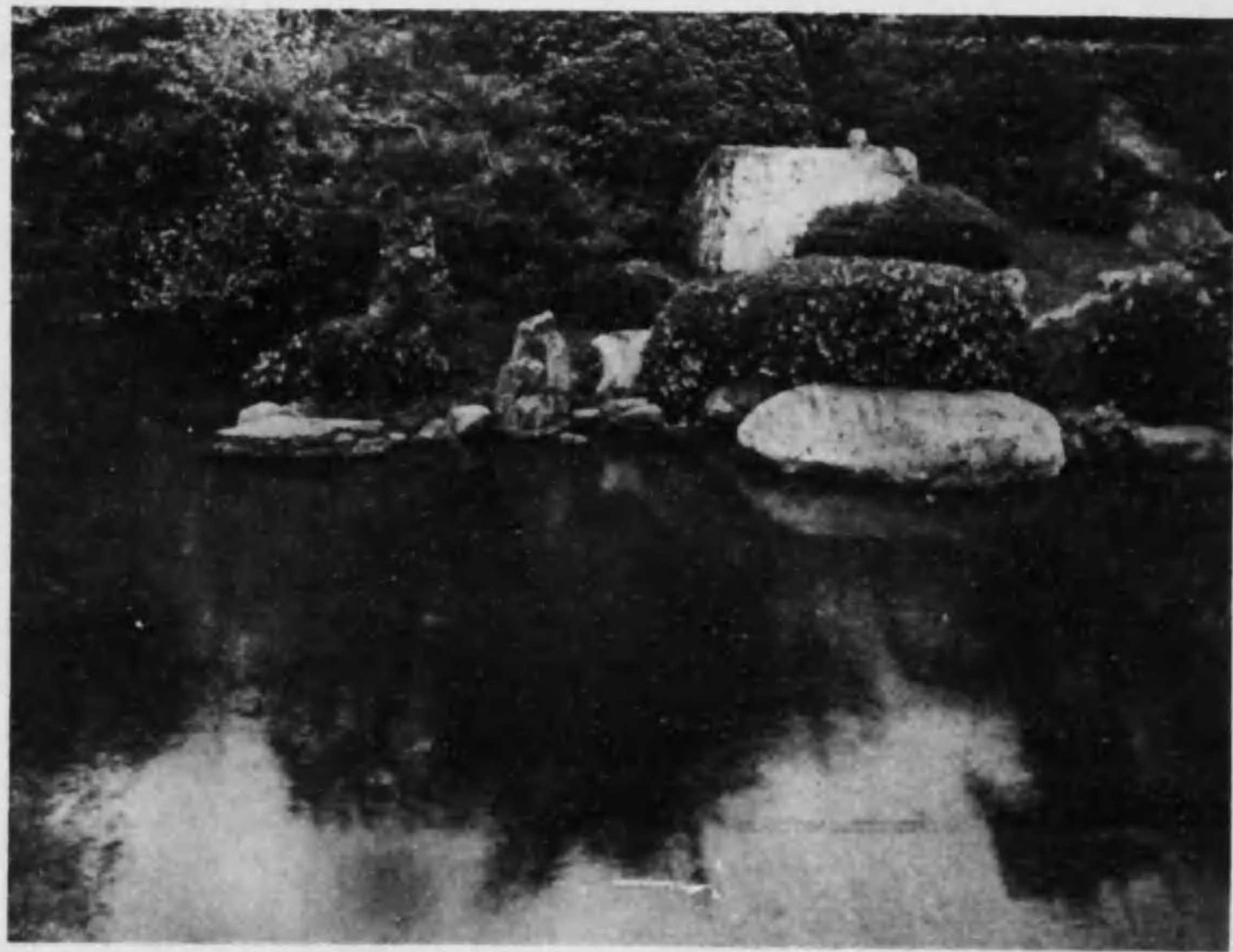
涉成園



"Shukuntei", The Tea-House (One of the Thirteen Views of Shōseiyen)

積穀邸とも東殿とも稱し、本山の東約二丁にあり、面積一萬六百餘坪なり、古は河原院とも稱し、嵯峨天皇の皇子源融公の別邸なりしが、公の薨後これを宇多天皇に獻じて仙洞となす、後徳川家光これを本山に寄附す、宣如上人石川丈山をして林園泉石を修造せしめて退隱の地とせらる、人烟稠密の中にあれども幽境別天地をなし四季それ々の趣を保つ、畏くも明治天皇には屢々轡を止め給ふ、園内には滴翠軒、傍花閣、印月池、臥龍堂、五松塙、侵雪橋、縮遠亭、偶仙樓、双梅齋、紫藤岸、漱沈居、回棹廊、丹楓溪の十三景あり、頼山陽の涉成園記及諸家の詩歌頗る多し。(上―縮遠亭・下―滴翠軒前庭)

一稱根登邸、或東邸、距本山東二町面積一萬六百餘坪、此地古稱河原院、爲嵯峨天皇皇子源融公之別墅、公薨後奉獻宇多天皇改爲仙洞、其後將軍家光公以此地寄本山、因宣如上人使石川丈山、修築林園泉石、以爲養老之地、本園雖在人烟稠密之中而自爲幽境別天地、四時各有風趣、曾明治天皇屢駐轡此園、園内有滴翠軒、傍花閣、印月池、臥龍堂、五松塙、侵雪橋、縮遠亭、偶仙樓、雙梅齋、紫藤岸、漱沈居、回棹廊、丹楓溪等之十三景、詩人頼子成(頼山陽子成)號山陽外史藝州廣島人所著有日本外史日本政記等)有涉成園記、其他諸家詠詩甚多



A Part of the Garden Facing Tekisuiken (One of the Thirteen Views of Shōseiyen)

Popularly known as Kikokutei, this Shōseiyen is a separate mansion belonging to the Higashi Hongwanji. It consists of many buildings facing a beautiful garden. There is a large pond with many islets, while several tea-houses each with its original features are erected around the pond.

418

143



昭和十六年八月十五日印刷  
昭和十六年八月二十日發行

【非賣品】

京都市下京區烏丸通七條通上ル常葉町

# 大谷派本願寺

編輯代表 川島見一  
發行代表 稻葉道意

京都市中京區問ノ町二條北入夷町  
印刷調製 片岡博成社



終

